

メコンデルタ地域におけるネットゼロ達成に向けた取り組み

2025年2月11日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

メコンデルタ地域におけるネットゼロ達成に向けた取り組み

メコンデルタ地域における持続可能な発展を目指し、ベトナムの科学技術省は企業や研究者を招集し、気候変動の影響に対処するための解決策を模索している。カントーで開催された「ネットゼロ達成に向けた科学技術プログラム」において、科学技術大臣フイン・タン・ダット氏は、科学者たちにこの地域でのネットゼロ実現に向けた実践的な解決策を求めた。この地域はベトナム経済の発展において重要な役割を果たしているが、気候変動の影響を最も強く受けている。

ダット大臣は、企業、研究機関、大学の協力を呼びかけ、炭素貯蔵技術や温室効果ガスの削減、グリーン転換、循環経済の発展などの革新的な解決策を探るよう促した。カントー市人民委員会のダン・タン・ヒエン副委員長は、気候変動や海面上昇が予想以上に急速に進行していることを指摘し、その結果として極端な気象現象が発生し、メコンデルタ地域の住民の生活に悪影響を及ぼしていると述べた。ヒエン氏は、この地域が科学技術に基づいて多くの革新的な対策を講じているものの、さらなる支援が必要であると強調した。

また、各省庁が研究機関や大学と連携し、ネットゼロ達成に向けた戦略的な科学技術プログラムに参加する機会を提供するよう求めた。国立科学技術プログラムは、ベトナムが2050年までにネットゼロを達成するために設計されており、既存の国家プログラムと連携して進められる。このプログラムは特にグリーン技術や温室効果ガス削減に焦点を当てており、COP26でのベトナムの国際的な約束にも寄与する。

このプログラムには三つの主要な目標が設定されている。第一に、政策や方針を改善するための科学的根拠を提供する研究を奨励すること。第二に、グリーン経済や循環型経済モデルを提案し、国際的な協力を通じて技術解決策を模索すること。第三に、新しい技術や解決策の研究開発と適用を進めることであり、温室効果ガス削減や新エネルギー技術の発展に貢献することである。

このような取り組みは、メコンデルタ地域だけでなく、ベトナム全体の持続可能な発展にも寄与し、気候変動への適応力を高めることが期待されている。

以上